

教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 12 月 21 日(水) 開会 午後 3 時 25 分
2. 場 所 大会議室
3. 議 事
議案第 47 号 後援名義の使用について

報告第 52 号 後援名義の使用について (3)
報告第 53 号 指定文化財の所有者変更について
報告第 54 号 後援名義の使用について
報告第 55 号 寄附採納について
非 報告第 56 号 指定学校の変更について (基準内) (8)
報告第 57 号 平成 28 年度坂出市子ども読書アンケートの結果報告について
報告第 58 号 平成 29 年坂出市成人式について
4. 出席者 教育長 國重 英二
委 員 齊藤 恵子
委 員 高尾 正彦
委 員 中橋 孝彦
委 員 小川 幸彦
5. 関係者 教育部長 浦田 俊一
教育総務課長 香川 浩基
学校教育課長 大平 美徳
学校教育課主幹 加賀 実
生涯学習課長 森 毅彦
生涯学習課長補佐 三谷 一正
文化振興課主幹 今井 和彦
図書館長 小川 俊緒
図書館長補佐 大藤 伸治
書 記 教育総務課長補佐 竹村 秀基
6. 署名委員について 國重英二教育長, 齊藤恵子委員
7. 前回会議録の承認について
11 月 25 日定例教育委員会の会議録承認
中橋委員より報告

会議録は詳細かつ正確であった旨の報告あり。

8. 非公開案件について

報告第56号は個人情報に関わるものであり非公開とすることについて挙手による採決を行った。

<結果>

多数決により非公開とすることに決定。

9. 議案・報告についての審議

文化振興課所管

報告第52号 後援名義の使用について (3)

説明者：文化振興課主幹

後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

報告第53号 指定文化財の所有者変更について

説明者：文化振興主幹

指定文化財の所有者変更について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

報告第57号 平成28年度坂出市子ども読書アンケートの結果報告について

説明者：図書館長

平成28年度坂出市子ども読書アンケートの結果報告について説明を行う。

◆質疑・意見

◇委員

調べ学習において、本以外で使用したものの中で新聞を使った割合が増えているが、学校の図書室での新聞の購読や保管はどのようにしているのか。

<回答>

図書館長

学校の図書室には、朝日小学生新聞が今年度から配置されたと聞いており、学校司書の方が、子供たちのために記事を調べ学習に使えるように切り抜いて保管することもしている。子供たちにどうやって調べるかを教えながら新聞の利用を進めている。予算は、学校教育課で一般紙と子供用を組んでおり、各学校へ配置している。

◇委員

新聞を使う割合が増えたというのは、調べやすく新聞が全校に配置されるようになったこともあるのか。

<回答>

図書館長

今年度より各図書室に新聞が配置されるようになり、見やすいように置かれている。メディアを使いこなすことも図書館利用の活用になると考えている。

◇委員

図書館司書が配置されている学校とそうでない学校との傾向の差はあるのか。

<回答>

図書館長

学校司書の配置は、島嶼部以外の小学校には配置しており比較は難しい。

◇委員

育児に父親の参加が増えているが、図書館として父親に向けた教育のようなものはしているか。

<回答>

図書館長

「読みメンの一と」を作成して、図書館に来館される保護者にお配りしている。また、読みメンプロジェクトと名前を付けた出前授業を学校で行い、男性の講師が読む姿を子どもたちに見せることも行っている。幼稚園の親子参観日に合わせて行うこともある。

◇教育長

中学生は、本をたくさん読む時期だと思うが利用が低い結果となっている。

<回答>

図書館長

小学生と中学生で大きな開きがあるのは、坂出市だけではなく香川県下全域で同様の状況である。そこで図書館では、10代の子どもの達に向けた「ティーンズコーナー」を作った。ファンタジー的なものや自分の将来に関わるキャリア教育の資料を揃えたところ、子どもたちがそこから本を選んでいる傾向がみられている。また、将来を見つけるための講座として10代の子どもの達を対象とした講演会活動も考えている。工芸品を作られている方に、物作りの大切さやその仕事を選んだ理由等自分の体験を語ってもらう予定である。今後も本との出会いの機会を創出していくことが大切なことと考えている。

◇委員

子どもたちが手に取ってみようと思うような本を図書館にできるだけ配置することが大事である。予算の問題にもなるが、良い環境にしてあげたいと感じる。そのような中で図書館は学校へ巡回しているがどのような状況か。

<回答>

図書館長

学校への巡回は、移動図書館を使って全小学校へ行っている。月1回の巡回を行い、昼休みを利用して生徒が図書館のカードを使って本を借りている。移動図書館には約2,000冊の本が積載されている。大規模校での場合は、追加で本を運び自分の好きな本を選んでもらっている。図書の選定にも工夫しており、子どもが選んだ本を移動図書館に配置するようにして、子どもの目線で選んだ本が各学校を巡回するようにしている。

◇委員

どのくらいの人数の子どもたちが本を借りに来るのか。

<回答>

図書館長

例えば坂出小学校の場合は、移動図書館と体育館で行うのだが、ほとんどの児童が本を見に来る。休み時間は混雑するのだが、友達と一緒に楽しく本を選ぶことを体験できる時間となっている。

◇委員

小学生の子供たちは、本を借りるために並んだりして移動図書館を楽しみにしている。中学校にも移動図書館が行けないのか。もしかしたら図書館に行く時間が取れないけれど、移動図書館が中学生の望むものを積載して昼休みに学校まで来てくれるのなら、本を借りる生徒が増えるかもしれない。部活動等で本を借りる時間が取れない生徒たちもいるので、試す価値があるのではないか。移動図書館は他市でも行っているのか。

<回答>

図書館長

香川県内では、高松市、坂出市、丸亀市が移動図書館を運営しているが、他市でも中学校の巡回はしていないと聞いている。小学校と中学校では児童生徒数が違い、昼休みの時間的な制約もある。今後はどのような形をとれば中学校に受入れやすくなるのか、月1回行っている学校司書の会で検討していきたいと考えている。

◇委員

子供たちが手に取ってみたいような本は、古い本ではなく新刊であると思う。各中学校が予算的にも対応できないのであれば、図書館がまとめて対応できないのかと思う。

◇教育長

これは図書館だけの問題ではなく、中学校の校長会でも真剣に考えてみる必要がある。問題提起をして、中学校の中で努力したうえで図書館にも協力をしてもらえればと考える。

生涯学習課所管

報告第 54 号 後援名義の使用について

説明者:生涯学習課長

後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

報告第 58 号 平成 29 年坂出市成人式について

説明者:生涯学習課長

平成 29 年坂出市成人式について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

教育総務課所管

報告第 55 号 寄附採納について

説明者:教育総務課長

市内在住の方から瀬居幼小中への寄附採納について説明を行う。

◆質疑・意見

特に発言する者なし。

学校教育課所管

議案第 47 号 後援名義の使用について

説明者:学校教育課長

後援名義の使用について説明を行う。

◆質疑・意見

◇委員

映画の種類指定はあるのか。

<回答>

学校教育課長

指定はないが、コンテストの目的が道徳心を養うとなっている。

◇委員

学校の負担にはならないのか。

<回答>

学校教育課長

参加者確保等のノルマは無く、学校の負担にはならないと考えている。子供たちが参加したければ、自分で応募することになる。

<結果>

教育長は各委員に諮り、原案のとおり可決した

その他

夏季休業実施検討委員会について

説明者:学校教育課長

夏季休業実施検討委員会の経過報告を行う。

教育委員の視察研修について

説明者:教育総務課長補佐

教育委員の視察研修について概要説明を行う。

10. 閉会 午後4時35分

11. 次回定例委員会日程

1月25日(水) 午後1時30分より

以上、会議のてん末に相違ないことを証します。

平成 29 年 1 月 25 日

教育長 國重 英二

署名委員 斉藤 惠子